

講演タイトル：分子栄養学ってどうやって考えて、どう使うの？



しまだ つとむ
講師：島田 力 先生

鍼灸師・鍼灸教員免許・臨床分子栄養医学研究会認定カウンセラー
東洋医学ライフクリエイティブ協会会長、日本かさ協会名誉理事

講義について

在校生の皆さん、はじめまして。以前、東京衛生学園で専任教員をしていた島田です。皆さんは日々の勉強のなかで、患者さんを治すためにどのような治療法を選択すべきかを考えていることと思います。

私は、鍼灸によるアプローチは、どんな方法を選んでもいいと思っています。

中医学でも、経絡治療でも、100本刺しても1本だけでも、刺さなくても、良いんです。

でも、せっかく苦労して治しても、その患者さんの生活、特に食事がメチャクチャだったら、また治りにくかったり再発したりしますよね。

ということは、鍼灸治療とともに生活の指導（特に食事）を根拠をもってしっかりできるようになる必要があるわけです。

そのための強力なツールになるのが「分子栄養学」だと僕は考えています。

今回は、この考えをどのように使うのかを分かりやすく伝えたいと思います。

現住所

神奈川県鎌倉市

趣味

読書（やや活字中毒気味）

ランニング（フルマソン完走7回）

テニス（高校時代から）

トレッキング（最近始めました）

ブログ

【東洋医学×分子栄養学】について
ブログ（2025/2/5現在98記事）

および無料メルマガを配信中。

登録は下記の公式サイトから。

東洋医学ライフクリエイティブ協会

<https://www.kiryu-omlca.jp/>



内容：「あなたは患者さんに食事指導ができますか？」

- ・現代医学が生活習慣病を治せない理由とは？
- ・本当の意味での本治とは何か？
- ・現代の日本人の栄養状態はどうか？
- ・分子栄養学ではどう考えるのか？
- ・根本原因にアプローチするってどういうことなのか？
- ・栄養指導ができると治療効果がアップする！
- ・鍼灸臨床と相性がいい分子栄養学

【ZOOM配信】2025年3月9日 午前14時～16時

ご略歴

- ・北海道大学で中国古典に関する基礎知識を身に付ける
- ・その後、父である島田隆司（前日本伝統鍼灸学会会長）の影響で東洋医学の世界に進む
- ・東京衛生学園で鍼灸師資格を取得後、同校臨床教育専攻科で教員資格を取得
- ・同校専任教員になり、その後、東洋医療系学科長補佐として鍼灸師教育と臨床の双方に従事し、医療面接カリキュラムを立案・実施
- ・同校退職後、アメリカの鍼灸教育の現状を視察するため一時渡米
- ・帰国後に、千葉県のおおぞら診療所において、医師と協働で在宅における鍼灸臨床に取り組む
- ・同時期に東洋鍼灸専門学校非常勤講師として東洋医学概論などを担当
- ・長谷柳黎医療福祉専門学校の鍼灸学科新設のため教務主任としてカリキュラムの策定から鍼灸教育、附属治療院での治療を担当
- ・宮城県の涌谷町町民医療福祉センター東洋医学外来設立に協力、同鍼灸科で鍼灸治療を担当
- ・東洋鍼灸専門学校教務部長として教育カリキュラム改訂などを実施
- ・鍼灸医学大辞典（医歯薬出版）の項目を分担執筆
- ・東洋療法学校協会編「東洋医学概論」分担執筆
- ・臨床分子栄養医学研究会認定カウンセラー資格取得
- ・現在、【東洋医学×分子栄養学】の普及のために幅広く活動中